



【評価尺度】 0：当てはまらない 1：一部当てはまる 2：概ね当てはまる 3：十分当てはまる

当校では、独立行政法人地域医療機能推進機構（以下 JCHO）の学校評価ガイドラインの自己評価表に基づき自己点検・自己評価を実施しました。その結果について公表いたします。本校の教育活動その他の運営状況について客観的に評価を行い、よい面はさらに伸ばし、また改善すべき点は明確にしていけます。令和元年度の総合評価の平均点は2.9点で、評価尺度に照らしてみると「概ね当てはまっている」でした。地域医療に貢献ができる看護師の教育に力を入れ、常に学生とともに向上できる学校を目指し今後も努力いたします。

カテゴリー	分析・課題
I 教育理念・教育目的 3.0点	教育理念・教育目的に基づいた学年別学級運営方針を年度初めに明示している。また、地域医療機能推進機構の理念でもある地域医療、地域包括ケアの担い手として社会のニーズに対応できる看護実践者の育成を目指すことを掲げている。JCHO 看護専門学校間で教育理念・学則の統一に取り組んだ。次年度はその運用に入る。
II 教育課程 2.7点	毎年見直しを行い、よりよい教育となるよう検討している。今後も継続的に指導案の検討をし、教授内容の共通認識をするとともに、担当を超えて学ぶようにしていく。今年度シラバスの検討を実施したため、次年度の運用に向けて準備を整える。 学校関係者評価の複数の委員から、教育課程の評価を受けている。

<p>III 教授・学習・評価過程 2.8点</p>	<p>講義と実習が連動するように配慮し、効果的に教育計画を立案している。また、学生からの授業評価と教師相互の授業評価を行うことで、講義の質向上に取り組んでいる。さらに今年度はシラバス検討のさい、評価基準・評価方法の検討も行った。学生の動機づけにつながるように活用していく。</p>
<p>IV 組織・管理運営 2.9点</p>	<p>学生が学習継続をできる環境を整える事を重点課題に取り組んだ。学生個々と担当教師の連携を密にし、学習に関して個別に支援を行った。また、精神的なサポートとして、学生カウンセラーの協力を得て支援できる体制をとっている。また、定期的な保護者懇談会の開催、電話連絡など、学校－保護者間で連携しながら学習支援体制を強化した。</p>
<p>V 入学 3.0点</p>	<p>入学生確保については、学校訪問、広報活動の増強、入試方法の改定により定員維持を達成している。今年度の願書の請求数は横ばい傾向にある。次年度は願書請求者がオープンキャンパス来校や受験者につながる取り組みに力を入れたい。</p>
<p>VI 卒業・就業・進学 2.6点</p>	<p>就職に関しては JCHO 関連病院への就職率が 69.6%となっており、昨年度より減少した。助産師学校への進学者等の影響があると考えられる。今後も、関連病院への就職を中心として、卒業生の個別性にあわせて就職支援に取り組みたい。</p>
<p>VII 地域社会貢献・国際交流 2.2点</p>	<p>3カ年を通して、ボランティア活動への参加を推奨して支援もしている。今年度は新たな活動の場を開拓できたので継続的に勧めていく。</p>
<p>VIII 教職員の育成 2.2点</p>	<p>質の高い教育のためには、教職員のための研修を充実させていくことが重要である。また、教職員相互の支援体制を整え、研究時間を確保していく必要がある。さらに、教員が研修に参加しやすい環境や指導体制を充実させていきたい。外部での研修や学会等での学びを共有できる場を確保する工夫をしていきたい。</p>
<p>IX 法令の遵守 2.8点</p>	<p>関係法令や看護学校設置基準等の遵守、個人情報の保護、学校評価、等の項目において達成できている。学校運営に必要な規則規定等を整備し、教職員や学生に周知することで安全で安定した教育を実施できるように努力をしている。今年度は教育理念・学則変更に伴い、関係法令に基づき申請・届け出を済ませることができた。</p>